

2006年7月19日

各位

京セラ株式会社  
京セラキンセキ株式会社

## 京セラキンセキ(株)によるヘルツ(株)の完全子会社化について

京セラ株式会社(本社:京都府京都市、社長:川村誠)の完全子会社である京セラキンセキ株式会社(本社:東京都狛江市、社長:岸本勲夫、以下京セラキンセキ)は、京セラキンセキグループにおける水晶製品事業をより一層強化するため、2006年7月19日開催の取締役会において、ヘルツ株式会社(本社:東京都八王子市、社長:山本孝光、以下ヘルツ社)を完全子会社化することについて決議し、同日、ヘルツ社の既存株主と株式譲渡契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。なお、ヘルツ社は2006年10月1日をもって、「京セラキンセキヘルツ株式会社」に社名変更する予定です。

ヘルツ社は、現在アマチュア無線機器市場に強みを持つ水晶振動子と水晶フィルタなどを中心に事業展開を図る、水晶デバイスの製造販売会社です。特に近年では、今後の事業の柱になると期待される、表面実装タイプの音叉型水晶振動子を独自の技術によって開発し、製造販売をおこなっています。

音叉型水晶振動子とは、時計の基準信号を作るために使用する水晶の関連部品ですが、携帯電話やデジタル家電など、時計機能を搭載する電子機器向けに需要が増加しており、2006年度の市場規模は、昨年度比4%増の406億円と予測されています。(QIAJ(日本水晶デバイス工業会)による国内メーカーの生産金額予測)

京セラキンセキは、人工水晶の育成から水晶を応用した水晶振動子、水晶発振器、SAWフィルタ、光学デバイスなどの製品まで一貫して開發生産する、業界大手の水晶デバイス製造会社です。このたびの完全子会社化では、ヘルツ社が有する音叉型水晶振動子の基礎技術、加工技術と、京セラキンセキが有する生産技術によって同部品の生産を拡大し、現在同社が取り扱っていない音叉型水晶振動子をラインナップに追加すること、さらに無線機器市場の充実を図ることにより、総合水晶デバイスメーカーとしての事業拡大を図ってまいります。

なお、現在ヘルツ社で製造・販売をおこなっている製品に関しましては、引き続きヘルツ社(2006年10月1日からは京セラキンセキヘルツ株式会社)において製造・販売をおこなってまいります。